

科目名	農業基礎演習	教員名	大道・古屋 岡崎・岡田・満月	開講 コース	作物生産 花園芸	1年次	前・後期
<p>・目的と内容</p> <p>農業基礎演習は、一年間をとおして圃場および実験室内で作物を扱い、農業実習の基礎を学ぶことを目的とする。圃場実習では、栽培経験が全くない学生を想定して、作物ごとに播種から各種栽培管理、収穫・出荷調整までを体験する。また、農業機械の基礎についても学ぶ。一方、室内実験では、実験器具の取り扱い方や作物の計測方法、データの取り方、まとめ方、考え方を学ぶ。また、室外・室内の観察をとおして、植物の体のしくみと土のはたらきを学ぶ。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：6 単位、授業週数：2 3 回 ]</p> <p>[ 前期・後期 ]            室外（農業実習）            1～2．ミニトマト、切り花、花壇苗播種            3～4．水稻播種、花鉢上げ、土の働き（土壌診断）            5～6．パレイショ、タマネギ播種、pH 測定            7～8．カボチャ、ハウレンソウ、エダマメ播種            9．ニンジン、ソバ播種、カボチャ鉢上げ            10．ハウス定植、肥料計算            11～12．花壇展示、露地定植、栽培試験            13～14．農業機械の説明、防除機械の説明・体験            15～18．栽培管理、栽培試験調査            19～21．収穫・調製作業、加工実習            22～23．科学レポートのまとめ</p>				<p>週2回2コマ連続授業</p> <p>[ 前期・後期 ]            室内（室内実験）            1～2．植物の体の仕組み            3～4．花の形態観察            5～6．バイテク実験            7～10．播種深度実験、科学レポートの書き方            11～12．花の構造（実体顕微鏡）            13～14．光合成試験            15～16．植物細胞の原形質分離            17～18．種子保存実験            19～20．DNA の抽出・観察            21～23．土の活性調査</p>			
<p>・講義の進め方</p> <p>気象条件や材料の都合で予定が変更されることがある。            試験・実験は同じテーマに関して数回にわたって行われるので、終了後にレポートを提出してもらおう。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席数、提出された実習記録、レポート、小テスト、そして普段の実習への取り組みで評価する。また、無断で欠席しデータを得られない場合は、成績に関係することがある。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>1．本演習はすべての講義科目と連動しており、基礎となる科目である。意識して受講することを望む。            2．圃場での実習や室内実験は毎回および各回のながれがあるので遅刻や無断欠席のないこと。            3．実習服の指定はないが、清楚で実習しやすい服装であること。長靴は各自用意し、特に寒い時期は温かい服装を心がける。また、実習棟には各自のロッカーを用意する。            4．屋外での実習中は、教員が全体に目が届かないことがあるので、農場職員の指示・指導にも従うこと。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：なし            日誌・資料：各自に配布、但し、持ち帰り不可、所定の場所に保存する。</p>							